

エルピクセル株式会社



- 所在地：東京都千代田区
- 従業員：約60名
- 会社設立年：2014年
- 事業内容：ソフトウェアの企画、研究、設計、開発製造及び販売等

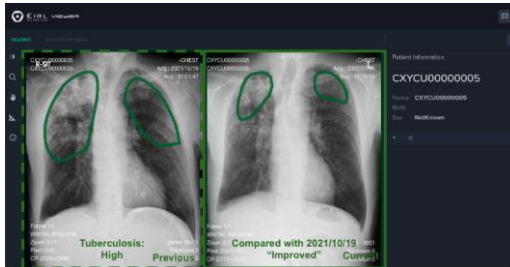
<https://lpixel.net/>

プロジェクト名

- タイにおける画像診断AIを活用したモバイル結核検診の実現に関する実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：マヒドン大学(公衆衛生学部)、バンコク主都庁(BMA、公衆衛生センター AIDS対策部)
- 協力・連携の内容：モバイルX線（X線撮影装置を搭載したバス）による結核スクリーニングへの画像診断AIの導入、効果検証



※あくまでイメージ図であり、検出結果／患者データは仮のものである。

現地の経済・社会課題

- タイは、WHOが定める「結核高負担国」の一つであり、国をあげて結核の撲滅に取り組んでいる。
- 結核の撲滅には早期診断による治療・予防が重要となるが、年間の新規結核患者のうち約30%が未発見と言われている。
- 結核の撲滅には、より多くの患者をスクリーニングする事が重要である。その手段としてモバイルX線が有効であるが、リソース等の問題により充分活用されていない。

実証内容

- 本実証検証プロジェクトでは、弊社が開発している結核の検出や過去画像との比較機能を有した画像診断AIを、現地のモバイルX線による結核スクリーニングのワークフローに組み込む。
- 従来のワークフローと比較し、スクリーニングの精度の向上、医療従事者の負担を削減、より少ないリソースでより多くの患者へのスクリーニングの実現を図る。

期待される裨益効果

- 結核のスクリーニングの普及拡大、結核の撲滅への貢献。限られたリソースでも効率的にモバイルX線の運用・管理が可能となり、導入施設数及び検診回数が増加し、遠隔地での検診率向上が図れることで、広範囲での早期結核診断の実現が期待される。
- 画像診断AIの医療現場での促進、医療の質の向上への寄与。実証するワークフローは他の疾患、使用環境への応用が可能であるため、画像診断の応用範囲を拡大することにより、医療の質の更なる向上への貢献が期待される。